

令和7年1月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 鈴木亮平

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日時 令和7年1月22日(水) 午後2時30分～午後3時35分

◆場所 市民交流センター 第2・3会議室

◆出席委員

教 育 長	黒 田 賢 一	教育長職務代理者	高 橋 輝 兆
委 員	松 田 攝 子	委 員	佐 藤 香
委 員	菅 井 信 吉		

◆事務局

教 育 部 長	末 永 量 太	次長兼教育総務課長	櫻 下 真 子
参事兼学校教育課長	松 崎 和 佳 子	生涯学習課長	郷 古 勝 浩
教 育 総 務 課	鈴 木 亮 平		
課長補佐兼教育総務係長			

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
 - ①本市の教育活動の状況
- 5 教育部長報告
 - ①塩竈市議会12月定例会の概要
- 6 その他報告
 - ①「しおがま学びの共同体」の検証結果と今後の方針について
- 7 閉会

1 開会 午後2時30分

2 前回会議録の承認

松田委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

高橋委員と佐藤委員を指名

4 教育長報告

黒田教育長から、以下のことについて報告

①本市の教育活動の状況

〔主な質疑〕

なし

5 教育部長報告

末永教育部長から、以下のことについて報告

①塩竈市議会12月定例会の概要

〔主な質疑〕

松田委員 学校施設環境整備事業について、手すり・スロープの設置とあるが、どのようなケースへの対応か。

櫻下課長 新たに特別支援教室の設置に伴い、学校内の階段等に設置するもの。

松田委員 ICT支援員配置事業について、配置人数と訪問頻度、支援内容等について伺いたい。

櫻下課長 人数については、原則小学校・中学校で各1名。1校当たり概ね月2回、年間で24回の訪問となっている。支援内容は授業支援や提案、機器の管理、教員向け校内研修、学校独自のICTに関するルール作りの支援など。

松田委員 ICTに関しては不得手な教員も多くいることから、定期的にそして継続した支援を行うことで、結果子供たちの能力やスキルの向上につながるものと思料する。継続した支援に努められたい。

菅井委員 NIEの取り組みについては、現在は第二小学校のみか。

松崎課長 現在は第二小学校のみである。

松田委員 こども新聞については全校で導入しているのか。また、導入している場合掲示場所はどこか。

松崎課長 各校で導入しており、図書室をはじめ、児童生徒にとって目につきやすい場所に設置している。

佐藤委員 宮城県児童生徒支援ネットワーク事業における指導員の訪問頻度やコミュニケーションの取り方について伺う。

松崎課長 学校の先生には相談しづらいことも相談できているといった報告が上がっている。今後とも連携して支援に努めたい。

高橋委員 宮城県児童生徒支援ネットワーク事業について、コラソンなど他の支援との関係について伺いたい。

松崎課長 他の支援の利用実績などといった要件はない。コラソンの利用実績の有無なども関係はなく、その逆もしかり。支援が必要な子供は、個人によってアプローチの仕方が違う。市としては相談・支援ができる窓口を広めるという趣旨で実施している。

6 その他報告

松崎学校教育課長から、以下のことについて報告

①「しおがま学びの共同体」の検証結果と今後の方針について

[主な質疑]

高橋委員 様々な児童生徒がいる中で一律で管理する難しさを感じた。これらの取り組みが成績を上げることが目的としているのか、人として他者とのつながりや協調していく力をはぐくむことを目的としているのか難しいところではあるが、今後この取り組みが良い方向に進んでいくことを切に願う。

松田委員 学びの共同体について「学力向上に寄与しているとは言えない」という評価となっているが、わからなさを共有したり、聞きあう姿勢を作るという点では非常に有効的な実践だったと考える。個別最適な学びと協働的な学びへ移行していくにあたり、学びの共同体であった基本の部分は引き継いでいく必要があると考える。

菅井委員 学びの共同体として成功した事例はあるのか。

松崎課長 両方のケースがある。先進的に取り組んできた自治体はその看板を下ろした事例が近年あったが、その逆に生徒指導困難校が立ち直ったケースもある。大事なのは様々な事例の良さを取り入れていく柔軟さと、教育委員会からの押し付けだけではなく、学校の自主性を支援していく姿勢だと考える。

佐藤委員 学びの共同体の看板を下ろすものの、これまでの取り組みの中での先生方の指導は子供たちに息づいていると考える。「わからない」を言えることが塩竈の学校の良さだったと感じていた。「わからない」がわかることへの喜びにつながっていくような取り組みについては、今後も継続して行ってほしい。

菅井委員 今後の予定については先生方にはどのように伝えていくのか。また、これまでの取り組みを否定されるように感じる先生が出てこないよう、配慮して伝えて行ってほしい。

松崎課長 今回の方針を策定するにあたり、校長先生をはじめ現場との意見交換を相当数実施してきた。その意見なども踏まえ今回の方針としたことから、現場からは期待を込めた好意的な意見をいただいている。

松田委員 講師派遣や研修についての必要な予算については今後も継続して措置していくのか伺いたい。

松崎課長 お見込みのとおりです。

7 閉会 午後3時35分

《会議録署名委員》

(高橋委員)

(佐藤委員)